

佐渡日蓮聖人マップ



思親の霊地 宗門史跡實相寺

日蓮聖人が佐渡第2の謫居・一谷入道屋敷(現・本山妙照寺)に住まわれていた時、故郷・安房清澄山の旭が森によく似た丘を見つけられた。以来、毎朝そこで昇る朝日に妙法を唱え両親を追慕し、鎌倉へ帰ることを祈念されたという。聖人が袈裟を掛けられたという伝説の松が境内にある。住所=佐渡市市野沢856



『開目抄』述作の聖地 本山根本寺

『開目抄』述作の地。真言宗弘樹寺の管理下にあった塚原三昧堂を、日成上人が天文21年(1552)に祖師堂を建立して復興。開山を日蓮聖人、日朗上人を第2祖とし、日成上人自身を第8世とした。京都市本山妙覚寺が管理した時代を経て、元和元年(1615)、第13世日衍上人の代に独立して、現寺号の根本寺と称した。住所=佐渡市新穂大野1837 ☎0259・22・3751



阿仏房ゆかりの聖地 本山妙宣寺

創立は阿仏房が入寂した弘安2年(1279)以前。阿仏房の子・藤九郎盛綱が自邸を寺として基礎を築いた。2度の移転を経て天正17年(1589)に現在地へ。寛文年間(1661-73)に身延山久遠寺・池上本門寺・中山法華経寺3寺の輪番寺となったが、明治11年(1878)に独立した。住所=佐渡市阿仏坊29 ☎0259・55・2061



聖人御着岸の霊地 宗門史跡本行寺

佐渡流罪となられた日蓮聖人は寺泊から荒海を渡り、佐渡・松ヶ崎にご着岸された。約400m離れた所に聖人が雨露をしのいで過ごされた大樹「おげやき」がある。この地に数日間留まられた聖人は、小倉峠を越えて第1の謫居となる塚原三昧堂へ向かわれた。住所=佐渡市松ヶ崎1201



地図はおおよその場所です。

佐渡在留中の聖人足跡

- ①ご着岸顕彰碑建つ法華岩



日蓮聖人ご着岸を顕彰した五輪塔が建つ岩。地元では経題目石とも伝わっている。塔は平成27年(2015)に再建されたもの。松ヶ崎海水浴場内にある。(佐渡市松ヶ崎地先)
- ②聖人ご逗留のおげやき



文永8年(1271)10月28日、松ヶ崎に上陸された日蓮聖人はこのケヤキの樹洞で3日3晩過ごされたと伝わる。現在のケヤキは2代目で、樹齢300年以上。(佐渡市松ヶ崎1071)
- ③峠越えでご休息の御梅堂



日蓮聖人が小倉峠を越えてご休息された場所。相模国の依智から杖としてきた梅の枝を挿し置かれたものが根付いた「星降りの梅」と藤の種を蒔かれたものが芽吹いた藤の大樹がある。(佐渡市小倉乙996)
- ④述作のための御井戸庵



中興入道が草庵を築き日蓮聖人を迎えたと言われる。日蓮聖人はこの井戸の水を使って墨をすって『観心本尊抄』を書かれたと伝わる。隣接して中興入道のご廟所や法華堂がある。(佐渡市中興乙911)
- ⑤日朗上人上陸の経島



日朗上人上陸の島。佐渡の西端近くにある経島は、日蓮聖人のご救免状を持っていた日朗上人が漂流して到着。岩の上からお題目を唱えたと伝わり、日朗上人の石像が安置されている。(佐渡市小木365地先)
- ⑥民と別れの涙・洗手霊蹟



ご救免により佐渡を旅立たれることとなった日蓮聖人は、佐渡の信徒たちとの別れを惜しみつつ浪手村の思案ヶ崎から真浦の津に向かわれた。(佐渡市豊田地先)
- ⑦一夜泊の日蓮洞窟



ご救免後、鎌倉へ帰るため真浦に来られた日蓮聖人。だが宿るべき家もなく一夜を過ごされたと言われるのが日蓮洞窟。(佐渡市真浦)
- ⑧往時を偲んだ日蓮堂



日蓮洞窟で一夜を明かされた聖人へ翌日、舟元家の人が迎え、粥を振る舞ったと伝わる。後に舟元家の人が建てたお堂で、古来多くの信徒がここを訪れ、聖人の往時を偲んだ。堂内の柱などに参拝者の名前が記され、古人の信仰の姿を今に留める。(佐渡市真浦)
- ⑨佐渡を發たれた真浦波題目碑



日蓮聖人が救免を得られて佐渡を船出された地に建つ。聖人が船上から朝日に向かわれて合掌されると波間から「南無妙法蓮華經」の7字が浮かんだという伝説にちなむ。(佐渡市真浦98)
- ⑩現代にも続く聖人への思い・日蓮聖人銅像



像高約13メートル、台座約13メートル(総高約26メートル)の巨大な銅像。その威容は必見の価値あり。平成15年(2003)建立。台座「開目」の文字が刻まれ、お釈迦さまの生まれたインドの方角を向いて立つ。(佐渡市加茂歌代1718)

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 山田光映
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 鶏内泰寛
 伝道局長 柳下俊明 現代宗教研究所長 赤堀正明
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生
 伝道部長 藤田尚哉 参 与 田中智海
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社社長 安芸栄祥
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 桃井日英
 宗務総長 金井孝顕
 教学部長 清水常光
 布教部長 三吉廣明
 総務部長 平田義生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 河野時巧
 宗務次長 小松正学
 財務部長 吉田諦規
 布教部長 小川正展
 庶務部長 金坂正道
 社会部長 森田修應
 教務部長 二宮無尽

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 企画部長 金原孝宜
 財務部長 西山聡達
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛
 宗務参事 田内孝照
 宗務参事 竹内敬雅

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 新井日現
 宗務副総長 永江日盡
 宗務副総長 谷 信一
 教育局長 植田日事
 弘通局長 山内日得
 総務局長 藤本日唱
 広報局長 澤田日松
 財務局長 谷 信一
 奉賛局長 柴崎日布

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六一)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 西尾弘道
 総務部長 住友公亮
 財務部長 柳下真敬
 教務部長 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀内浩善
 総務部長 坂本法保
 企画部長 峰尾泉栄
 教学部長 舟積法宏
 教化部長 水野智悠
 社会部長 堀 雅博
 財務部長 堀 雅博

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 宗務部長 増田日倫
 総務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大木山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 松浦正
 門連理事 森山真治
 門連常任理事 藤本坦孝
 門連理事 的場春奈
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二代
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 今井行康
 責任役員 木津博充
 同 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行徳行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 上田日瑞
 副会長 桃井日英
 理事長 橋本一妙
 副理事長 佐藤泰慎

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入大菊町九六
 頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一宗務所内
 電話 〇七五(七六一)二四一一
 FAX 〇七五(七六一)九三三八

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 伊藤信城 問 門谷光瑞
 副理事長 藤本経尚 問 中村日游
 顧問 木下恵温 問 東 孝信
 顧問 藤村恵容

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町九-一-二七
 電話 〇六(六七六一)七三三三
 FAX 〇六(六七六一)六六四九

身延山久遠寺

日蓮宗総本山
身延山開創 七五〇年

法主 内野日総
総務 持田日勇

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 木内隆志
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五二)一三三三一
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

本能寺

貫首 桃井日英
執事長 佐藤泰慎
役員一同

〒604-8901 京都府京都市中京区寺町通御池下る
電話 〇七五(二三)五三三五
FAX 〇七五(二二)二八三八

妙満寺

貫首 大川日仰
総務 土持栄孝
執事 中村英司
執事 湯原正純
執事 足立幸謙

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

本成寺

法華宗(陣門流)総本山
貫首 門谷日悠
寺務所員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

本隆寺

法華宗(真門流)総本山
貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 笹木研吾
執事補 矢放啓亮
参与 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

妙蓮寺

本門法華宗大本山
貫首 別所日山
執事長 佐野充照
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五)三三二七
FAX 〇七五(四五)三三九七

本山要法寺

多寶富士山
貫首 丹治日遠
執事長 西尾弘道
執事 住友公亮
執事 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七)三三九〇
FAX 〇七五(七七)五九一四

宥清寺

本門佛立宗本山
住二十六世講有 高須日良
執事長 山下日翠
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本閉寺 貫首 早川日章
本山 本法寺 貫首 瀬川日照
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
本山 本満寺 貫首 森 日洗
本山 妙傳寺 貫首(代) 近藤 日康

法華門流懇話会

京都
法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮本宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 赤塚日辰

清澄寺

日蓮宗大本山
出家得度の霊場
千光山
別當 齊藤日敬
執事長 宮崎雅宣

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

誕生寺

宗祖御降誕霊場
日蓮宗大本山
貫首 石川日命
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

妙本寺

日蓮宗霊跡本山比企谷
貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五―一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二五)六九六七

富士山法華本門寺根源

日興上人御聖廟
日蓮宗大本山
貫首 旭 日重
参与 一同
執事長 鈴木春雄
役課 一同

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

中山法華経寺

日蓮宗大本山
貫首 新井日湛
参与 植田観樹
参与 松本慈恵
参与 關 観亮
参与 土田恵敬
参与 松永慈弘

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇―一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

堀之内妙法寺

やくよけ祖師
日蓮宗本山
山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

藻原寺

日蓮門下お題目初唱之霊場
日蓮宗本山東身延
貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

瑞輪寺

徳川家康公報恩創建
日蓮宗由緒寺院
除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安
貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三



門連時報

京都理事會開催さる

令和四年十一月十七日(木)、顕本法華宗総本山妙満寺において、日蓮聖人門下連合会京都理事會が開催され、全門連及び京都門下連合会各聖、大阪門下懇話会理事長等、五十名が参列した。

午後一時、妙満寺貫首大川日仰猥下を大導師に、副導師には京都日蓮聖人門下連合会理事長の土持栄孝上人、同じく副理事長の橋本一妙上人を仰ぎ、参加者一同が本堂に参列して法味を言上した。今回の法要は「立正大師諡号宣下百周年慶讃法要」として大川猥下により慶讃文が奉読された。

その後、顕本法華宗務次長小松正学師より「日蓮聖人門下における立正大師諡号の意義について」と題し講演が行われた。



なされ、諡号に至る歴史的背景など詳しくご講義いただいた。午後三時、田中恵紳理事長が座長となり理事會が開会。任期満了に伴う監査・相談役の再任について諮られた後、事務局より上半期の事業報告がなされ、続いて京都門下連合会、大阪門下懇話会よりそれぞれ活動が報告された。また、如来滅後五百歳始観心本尊抄述作七百五十年を慶讃し、門下連合会一同が述作の地である新潟県佐渡市市野沢妙照寺に集い、慶讃法要を厳修する「日蓮聖人観心本尊抄述作七百五十年慶讃記念佐渡結集」が提案、承認された。理事會終了後、午後五時三十分よりザ・プリンス京都宝ヶ池にて三年ぶりの懇親會を開催。和やかな雰囲気の中、出席者同士が親睦を深め、有意義なひと時を過ごした。

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

日蓮大聖人御会式法要
十月一日、京都市左京区顕本法華宗総本山妙満寺に於いて、京都日蓮聖人門下連合会主催・京都日蓮聖人門下本山会後援のもと宗祖御入滅第七百四十一年御会式法要を執り行った。

当日は秋晴れの中、妙満寺貫首大川日仰猥下を大導師、土持栄孝・橋本一妙京都日蓮聖人門下連合会正副理事長を

協導師に法要を開式した。門下本山会各貫首猥下、京都門連役員、有縁の関係各聖、更には檀信徒の約七十人が異体同心に宗祖の遺徳を偲び、お題目を唱え報恩感謝の誠を捧げた。また、法要前には日蓮宗妙覺寺宮崎日嚴貫首による「斎藤道三の法華信仰」と題して、生涯の生い立ちや法華信仰に対する篤い気持ちの変化など資料を基に法話された。

京都日蓮聖人門下青年会結成五十周年

令和四年に京都日蓮聖人門下青年会(以下、京門青)は、結成五十周年を迎えるに至りました。

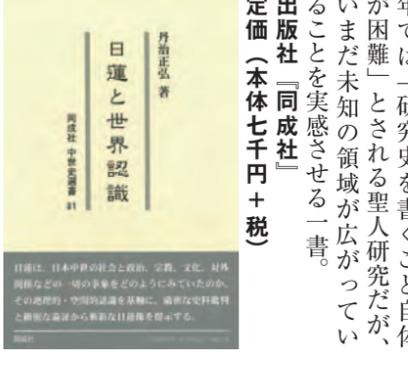
これも偏に、京都日蓮聖人門下連合会の全寺院各聖のご支援ご厚情、並びに青年会諸先輩方関係各位のご尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。

この京門青は、京都の地に於いて、教義・行法・信條・伝統そして宗風も異なる中、日蓮聖人の御教えを伝えたい一念で、日蓮宗・法華門流の青年僧有志が垣根を超えて集い、現代社会の諸問題を踏まえ、布教・教学等の研鑽と親睦を目的として結成され日々会員各聖切磋琢磨しながら活動しております。

第三十三回 研修會

十二月七日(水)午後四時より開催。講師は法華宗本門流「興隆学林専門学校」准教授・池田本唱寺住職・三浦和浩師。講題「ポストコロナ時代の寺院のあり方」。師は、コロナ禍の現状を分析されており、さらに、今回の講演会では、分析から見えてきた課題より更に一歩踏み出し、ポストコロナ時代の寺院・僧侶のあり方や進むべき方向への教示やヒントを提示いただいた。

また、研修會の後の意見交換では、より一層、研鑽を深める意義深い時間となった。



『日蓮と世界認識』
発行のご案内
日蓮聖人聖誕八〇〇年を記念して、一昨年、昨年と多くの書籍が出版されたが、聖人に特化した歴史学の学術書としては、これが唯一の書である。著者は日本中世の地理認識への関心から聖人の史学・思想史学研究をこころざし、五味文彦氏(東京大学名誉教授、近藤成一氏(同)に師事した。本書は、その博士学位論文をもとに構成したものである。日蓮聖人に関しては既に多くの学術書をみるが、聖人の地理的・空間的認識に注目した点が新しい。具体的には聖人が「一閭浮提」の語に注目することで、中世日本で一般的であった「三國世界観」(この世界は日本・中国・インドの三國で成り立っている)の世界観を転換し、その結果、日本人として初めて今日の「世界」という概念に到達したこと、さらに日本成立の宗教として史上初めて海外宣教を掲げたことを論じる。また日蓮聖人といえは「龍口御難」が有名だが、御遺文の実証的検討を通じて、かの「光物」の靈驗譚が「平家物語」の観音利生譚を雛型としていた可能性を指摘する。近年では「研究史を書くこと自体が困難」とされる聖人研究だが、いまだ未知の領域が広がっていることを実感させる一書。

出版社「同成社」
定価(本体七千円+税)

渡邊實陽 著
監修 財団法人「法華会」
編集・発行 (株)日蓮宗新聞社

法華三部經大講義

本刊行は小林一郎・久保田正文両先生の『法華經大講座』の精神を引き継ぎ、日蓮聖人が読まれた立場で解説した法華經全巻と開經・結經の要点を概説しています。初学の読者にも容易に理解出来るよう配慮した、やさしい「法華經理解の入門書」です。

【第1巻】202頁
開經から法華經へ
開經『無量義經』

【第2巻】518頁
『妙法蓮華經』
序品第一～
信解品第四

【第3巻】446頁
葉草喻品第五～
安樂行品第十四

【第4巻】455頁
從地涌出品第十五～
普賢菩薩勸發品第二十八

【第5巻】165頁+全文検索用USB
結經『仏説觀普賢菩薩行法經』
文字検索対応PDFデータ
(索引に替えて)

※引用經文(訓読)校訂協力
佐世保本興寺 松本玄經・
岩永泰賢&普賢會・
九州教化センター各聖

A5判 ハードカバー・ケース入り
※セット内容イメージ

五巻には全索引に替えて全文PDFを収納したUSBをセット

全5巻セット 20,900円(税込・送料別)

お申し込みは **日蓮宗新聞社** 〒146-0082 東京都大田区池上 7-23-3 TEL 03-3755-5271/FAX 03-3753-7028 <http://news-nichiren.jp/>



各派・教団・短信

日蓮宗

◆総本山身延山久遠寺で五月十七日に「日蓮聖人御入山七百五十遠忌法要」、六月十三日〜十八日の六日間には「開創七百五十年慶讃法要」が様々な法要形式で営まれる予定。

◆身延山久遠寺で古式豊かな「御年頭会」が一月十三日に行われ、六老門跡寺院貫首をはじめ宗務内局らが参列し、大本堂で年頭会法要、法要後には境内で「曳馬式」が行われた。(大澤宏明)

法華宗(本門流)

◆十一月二十七日 法華宗サンフランシスコ仏教会開教師就任式(於:サンフランシスコ仏教会) 令和五年

◆一月三十日 興隆学林専門学校後期授業開始

◆二月十六日 宗門主催 宗祖日蓮大聖人聖誕八〇〇年記念法要(於:大本山本能寺)

◆三月三日 興隆学林専門学校令和四年度卒業式

◆三月十日 東日本大震災第十三回慰霊法要(於:大本山鷲山寺)

◆三月十五日 第三十三回法華宗教学研究発表大会(於:キヤンパスプラザ京都)

◆四月十日 興隆学林専門学校令和五年度入学式

◆四月十一日 千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要

※行事については予定を含みまず。お問い合わせは宗務院(03-5614-3055)まで。

顕本法華宗

◆十月七日(金)、オンラインにおいて第一回全国布教研修会が開催された。研修会では津村信裕上人による「年回法要の新たな取り組み」郵便法要と住職を知ってもらうこと、共感を招くための努力、中山浄敬上人による「デジタル立正寺YouTubeなど」布教活動、奥村智行上人による「サイバーセキュリティ対策」と題する講義が行われた。

◆十月十二日、総本山妙満寺において初めて本宗寺院の住職に任命された僧員の奉誓式が執り行われた。本年は、永福寺・本福寺・清瀧寺(千葉県八街市)住職・川又武学師、泰行寺・常福寺・本照寺(千葉県原市)住職・吉田英心師、大乗寺・常光寺・法行寺(千葉県茂原市)大綱白里市・千葉市)住職・古山純正師の三名が参列し、御宝前において誓願された。

◆十一月四〜六日の三日間にわたり、オンラインにおいて、妙塔学林(研修科・研究科)が開講された。

◆十一月二十二日(火)、オンラインにおいて第二回全国布教研修会が開催された。研修会では川崎英真上人・朝倉俊泰上人より「想定問答」一般問答、法華問答」と題する講義、秋山事遷上人より「社会課題に込める寺院を指して」岡山河畔芸術祭での取り組み」と題する講義が行われた。

◆十二月九日(金)、オンラインにおいて第二回全国布教講習会が開催された。外部講師・矢吹康英先生(日蓮宗教学研究研究所

員)を講師に迎え、「立正大師諡号宣下について」と題する講義が行われた。

法華宗(陣門流)

◆九月七日、新型コロナウイルス感染症対策のため、宗内全教師を対象とした中央行学講習会はzoomミーティングによるオンライン開催となった。開講式に引き続き第一講義では宗学研究員・学林教授田中靖隆先生による「コロナ禍における寺院の在り方を模索する」、第二講義では本化仏教研究所長大賀義明先生による「布教研究―檀家から信者への転換のころみ―」の講義でお話頂いた。

◆十一月十六日〜十七日、研究発表会がzoomミーティングによるオンラインで開催された。

◆十一月十六日、宗学研究員会がzoomミーティングによるオンラインにて開催された。

◆十一月十七日、学林教授会がzoomミーティングによるオンラインにて開催された。

◆十一月二十二日、布教研究所所報編集会議がzoomミーティングによるオンラインにて開催された。

◆十二月七日〜八日、新任職・学生・沙弥合同研修会が昨年同様zoomミーティングによるオンラインで開催された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義や宗法に関する講義を受け、新任職は研鑽に励んだ。

本門佛立宗

◆令和四年六月四日「第二回くんげ会情報交換ミーティング」が全国から三十二名の参加者でオンライン開催された。活動活性化の課題やその克服事例が共有された。

◆令和四年八月一日、新宗門機関誌「だいほうこう」がリニューアルされた。これまでの大光の偉大な功績に敬意を表し、三祖のみ教えを人々にお伝えするという伝統を踏まえつつも、現代のニーズに込める一冊になっている。

◆令和四年八月二十三日、第五支庁では大正十二年(一九二三年)九月一日午前十一時五十分分に発生した関東大震災の第百回忌を迎え、管内寺院の住職にご出席いただき、コロナ対策を講じた上で、約二百名で東京・墨田区東京都慰霊堂を会場に「関東大震災第百回忌慰霊法要」を厳修した。

◆令和四年(二〇二二)七月十三日から八月三十一日まで、イタリヤ、リミニ市立ミュージアム・ルイージ・トニーニにおいて写真展「トランクの中の日本」戦争、平和、そして仏教」が開催された。

同展示は二〇一六年にスタートし、サンマリノ共和国と日本の文化交流のイベント「サンマリノ・ニッポンまつり」の特別企画として開催された文化交流イベント「NIPPON MATSURI 2022 ABSOLUTE PEACE」の一環として開催。

二〇一八年、二〇一九年と開催された「サンマリノ・ニッポンまつり」に同写真展をサンマリノ共和国の国会議事堂(旧プロリコ宮殿)にて行われた。

◆令和四年十一月二十五日から京都佛立ミュージアムでは「社会福祉と仏教展」を開催。本門佛立宗が担ってきた福祉活動をご紹介しますとともに、改めて近代福祉と仏教の関係を振り返る企画展。本年四月二日まで開催中。

◆十月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

◆十一月十二日、大本山妙蓮寺に於いて、御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代上人年忌法要を奉修。

◆十月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

◆十一月十二日、大本山妙蓮寺に於いて、御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代上人年忌法要を奉修。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院院长) 第百八十三回教学講習会を、十一月二十九・三十日に妙蓮寺卯木講堂にて開講。◆機関誌「信行」第百九十八号、布教誌「生きる」第七十九号を一月一日に発行。

◆令和四年十月一日、月旦大國禱。月旦大國禱。十日、佐渡法難会慶讃法要。十二日、日蓮聖人御速夜法要。十三日、日蓮聖人鶴林会報恩大法要。十六日、妙宗大靈廟例月供養会。十七日、恩師忌。賽主以下本部員、妙宗大靈廟常勤給仕。

◆十一月一日、月旦大國禱。明治の日運営委員会(於、衆議院第二議員会館)に、森山真治運営委員出席。三日、明治節慶讃法要。賽主・山田友重講師、明治神宮代表参拝。七日、門連機関紙編集委員会(於、日蓮宗宗務院)に、的場春奈編集委員出席。八日、「明治の日を実現しよう!院内集会」(於、衆議院第一議員会館)に、賽主以下中央会員有志出席。十一日、小松原法難会慶讃法要。十六日、申孝園ロータスヴィラ消防訓練実施。恩師田中智学先生御速夜法要。十七日、恩師第八十四遠忌報恩大法要。二十日、妙宗大靈廟例月供養会。

◆十二月一日、月旦大國禱。明治の日運営委員会(於、衆議院第一議員会館)に、森山真治運営委員出席。十日、田中芳谷先生五十回忌追善法要。申孝園ロータスヴィラ入居者先亡諸霊位合同慰霊祭。十七日、恩師忌。賽主以下本部員、妙宗大靈廟常勤給仕。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送迎新式。

◆令和五年一月一日、明治神宮正式参拝。元旦大國禱・新年拝賀式・神酒拝戴式。七日、昭和天皇祭。賽主・山田友重講師、武蔵野御陵参拝。十五日、妙宗大靈廟例月供養会。

国柱会

◆令和四年十月一日、月旦大國禱。十日、佐渡法難会慶讃法要。十二日、日蓮聖人御速夜法要。十三日、日蓮聖人鶴林会報恩大法要。十六日、妙宗大靈廟例月供養会。十七日、恩師忌。賽主以下本部員、妙宗大靈廟常勤給仕。

◆十一月一日、月旦大國禱。明治の日運営委員会(於、衆議院第二議員会館)に、森山真治運営委員出席。三日、明治節慶讃法要。賽主・山田友重講師、明治神宮代表参拝。七日、門連機関紙編集委員会(於、日蓮宗宗務院)に、的場春奈編集委員出席。八日、「明治の日を実現しよう!院内集会」(於、衆議院第一議員会館)に、賽主以下中央会員有志出席。十一日、小松原法難会慶讃法要。十六日、申孝園ロータスヴィラ消防訓練実施。恩師田中智学先生御速夜法要。十七日、恩師第八十四遠忌報恩大法要。二十日、妙宗大靈廟例月供養会。

◆十二月一日、月旦大國禱。明治の日運営委員会(於、衆議院第一議員会館)に、森山真治運営委員出席。十日、田中芳谷先生五十回忌追善法要。申孝園ロータスヴィラ入居者先亡諸霊位合同慰霊祭。十七日、恩師忌。賽主以下本部員、妙宗大靈廟常勤給仕。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。三十一日、福茶の会。送迎新式。

◆令和五年一月一日、明治神宮正式参拝。元旦大國禱・新年拝賀式・神酒拝戴式。七日、昭和天皇祭。賽主・山田友重講師、武蔵野御陵参拝。十五日、妙宗大靈廟例月供養会。

日本山妙法寺

◆令和四(二〇二二)年十月二十八日、インド国オリッサ州の日本山妙法寺僧尼三十名が結集し、数千人の市民が参詣する中、盛大に挙行されました。アショーク王が懺悔改心し、不殺生戒を受持したブバネシュワール市タウリ丘の霊蹟に建つオリッサ州仏舎利塔から立正安国の撃鼓宣令の祈りが世界に発信されました。大法要後、十二月二日、鈴木浩在インド日本大使が参詣され、引き続き在インド・ネパール大使夫妻も参詣されました。

◆「日本山妙法寺山主藤井日蓮上人(一八八五〜一九九五)建立のオリッサ州仏舎利塔湧現五十周年大法要が十月二十八日に挙行された。藤井上人の深い展望は、アショーク王が不殺生戒を受持した霊蹟を、さらに集団的不殺生の聖地として、軍拡競争、核兵器開発に迷妄する世界に発信することである。その祈りの収斂の場がタウリ丘宝塔である」(「中外日報」「寄稿」二〇二二年十一月三十日より)

◆「日本山妙法寺山主藤井日蓮上人(一八八五〜一九九五)建立のオリッサ州仏舎利塔湧現五十周年大法要が十月二十八日に挙行された。藤井上人の深い展望は、アショーク王が不殺生戒を受持した霊蹟を、さらに集団的不殺生の聖地として、軍拡競争、核兵器開発に迷妄する世界に発信することである。その祈りの収斂の場がタウリ丘宝塔である」(「中外日報」「寄稿」二〇二二年十一月三十日より)

◆「日本山妙法寺山主藤井日蓮上人(一八八五〜一九九五)建立のオリッサ州仏舎利塔湧現五十周年大法要が十月二十八日に挙行された。藤井上人の深い展望は、アショーク王が不殺生戒を受持した霊蹟を、さらに集団的不殺生の聖地として、軍拡競争、核兵器開発に迷妄する世界に発信することである。その祈りの収斂の場がタウリ丘宝塔である」(「中外日報」「寄稿」二〇二二年十一月三十日より)

◆「日本山妙法寺山主藤井日蓮上人(一八八五〜一九九五)建立のオリッサ州仏舎利塔湧現五十周年大法要が十月二十八日に挙行された。藤井上人の深い展望は、アショーク王が不殺生戒を受持した霊蹟を、さらに集団的不殺生の聖地として、軍拡競争、核兵器開発に迷妄する世界に発信することである。その祈りの収斂の場がタウリ丘宝塔である」(「中外日報」「寄稿」二〇二二年十一月三十日より)

◆「日本山妙法寺山主藤井日蓮上人(一八八五〜一九九五)建立のオリッサ州仏舎利塔湧現五十周年大法要が十月二十八日に挙行された。藤井上人の深い展望は、アショーク王が不殺生戒を受持した霊蹟を、さらに集団的不殺生の聖地として、軍拡競争、核兵器開発に迷妄する世界に発信することである。その祈りの収斂の場がタウリ丘宝塔である」(「中外日報」「寄稿」二〇二二年十一月三十日より)

◆「日本山妙法寺山主藤井日蓮上人(一八八五〜一九九五)建立のオリッサ州仏舎利塔湧現五十周年大法要が十月二十八日に挙行された。藤井上人の深い展望は、アショーク王が不殺生戒を受持した霊蹟を、さらに集団的不殺生の聖地として、軍拡競争、核兵器開発に迷妄する世界に発信することである。その祈りの収斂の場がタウリ丘宝塔である」(「中外日報」「寄稿」二〇二二年十一月三十日より)

◆宗本山本法寺)。

◆同日 御降誕会(日蓮宗本山本法寺) 導師本法寺貫首瀬川日照親下、講師法華宗陣門流本山本禅寺貫主赤塚辰親下。

◆三月月上旬理事会(日蓮宗京一宗務所) 立教開宗会の件、夏季大学の件。

◆四月二十八日(木) 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師日蓮宗本山立本寺上田日瑞親下、講師法華宗本門流布教師、後觀光。

◆六月月上旬 理事会(日蓮宗京一宗務所) 夏季大学の件、御会式の件。

◆六月中旬予定 門下本山会主伴会 当番法華宗本門流大本山本能寺。

◆六月頃予定 全門連身延理事會(身延山久遠寺) 会長、理事長等出席予定。

◆八月二十六日(土) 夏季大学(ホテル本能寺) 講師日蓮宗本山貫首親下、その他講師未定。

◆同日 理事会(ホテル本能寺) 御会式の件。

京都門下連合会

◆一月二十七日(金) 新年理事會(ホテル本能寺) 今年度会長上田日瑞親下、副会長桃井日英親下、理事長橋本一妙師、副理事長佐藤泰慎師。

◆二月十六日(木) 総会(日蓮宗) 査(日蓮宗京一宗務所)。

◆十月下旬予定 全門連京都理事會(日蓮宗本山妙覺寺)。

人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任/退任
令和四・一〇・一	荒居養行	日蓮宗	幹事	退任
令和五・一・一	生駒耀賢	日蓮宗	顧問	退任
令和五・一・一	大川日仰	京門連	顧問	退任
令和五・一・一	上田日瑞	京門連	顧問	退任
令和五・一・一	土持栄孝	京門連	常任理事	退任
令和五・一・一	橋本一妙	京門連	常任理事	退任